

2022年 5月12日

各 位

会 社 名 株式会社セキュアヴェイル  
 代表者名 代表取締役社長 米今政臣  
 (コード番号:3042 東証グロース)  
 問合せ先 経営企画本部 工内健太郎  
 (電話 06-6136-0026)

### 連結業績予想の修正及び個別業績の前年実績値との差異に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月14日に公表しました2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の通期業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。また、個別業績の予想値につきましてもお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2022年3月期連結業績予想値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,100	106	110	76	9.88
今回修正予想 (B)	957	△92	△83	△111	△14.54
増減額 (B - A)	△143	△198	△193	△187	
増減率 (%)	△13.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	1,200	33	35	46	6.06

(注) 当社は2021年4月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

#### 修正の理由

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、本格化を見込んでいた対面営業の延期や、調達遅れによる売上計上時期のずれ、顧客の投資抑制による選定段階での案件停滞の影響が想定よりも大きく、年度末にかけて当初計画を143百万円下回る見込となりました。

損益面につきましては、売上の減収に加え、セキュリティ運用基盤の開発、新規サービスの広告宣伝に追加の先行投資費用を計上したことにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が当初計画を下回る見込みとなりました。

なお、この状況を踏まえて、当社グループではセキュリティ運用基盤の機能強化と追加をはじめ、販売パートナーとの戦略的連携強化などの施策を実施し、今後の収益拡大に取り組んでおります。

2. 2022年3月期個別業績予想値（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績（A） （2021年3月期）	百万円 873	百万円 126	百万円 127	百万円 109	円 銭 14.40
今回発表予想（B）	801	94	94	12	1.63
増減額（B－A）	△72	△32	△33	△97	
増減率（％）	△8.2	△25.4	△26.0	△89.0	

（注）当社は2021年4月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

差異の理由

当期純利益につきまして、連結子会社である株式会社キャリアヴェイルの運用アウトソーシングサービスの販売が当初想定していた計画を下回って推移したため減損処理を実施し、関係会社株式評価損として54百万円を特別損失に計上する見込みとなりました。

なお、当社の個別決算で計上されるこの特別損失は連結決算では相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

（注）上記の業績予想は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて記載したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上